

第10次中期経営計画

「Sanyo Global Action 2019」

～山陽ブランドのグローバル化による持続的成長の追求～

ご説明資料



“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

目次

I. 第9次中期経営計画の総括

II. 第10次中期経営計画 「Sanyo Global Action 2019」

1. 環境認識

2. 経営基本方針

3. 主要経営指標

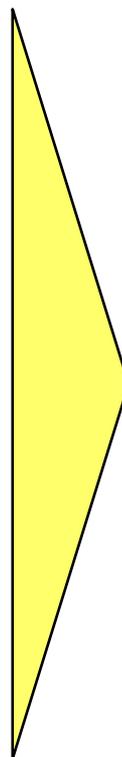
4. 重点施策

I . 第9次中期経営計画の総括

主要経営指標の達成状況

(単位: 億円)

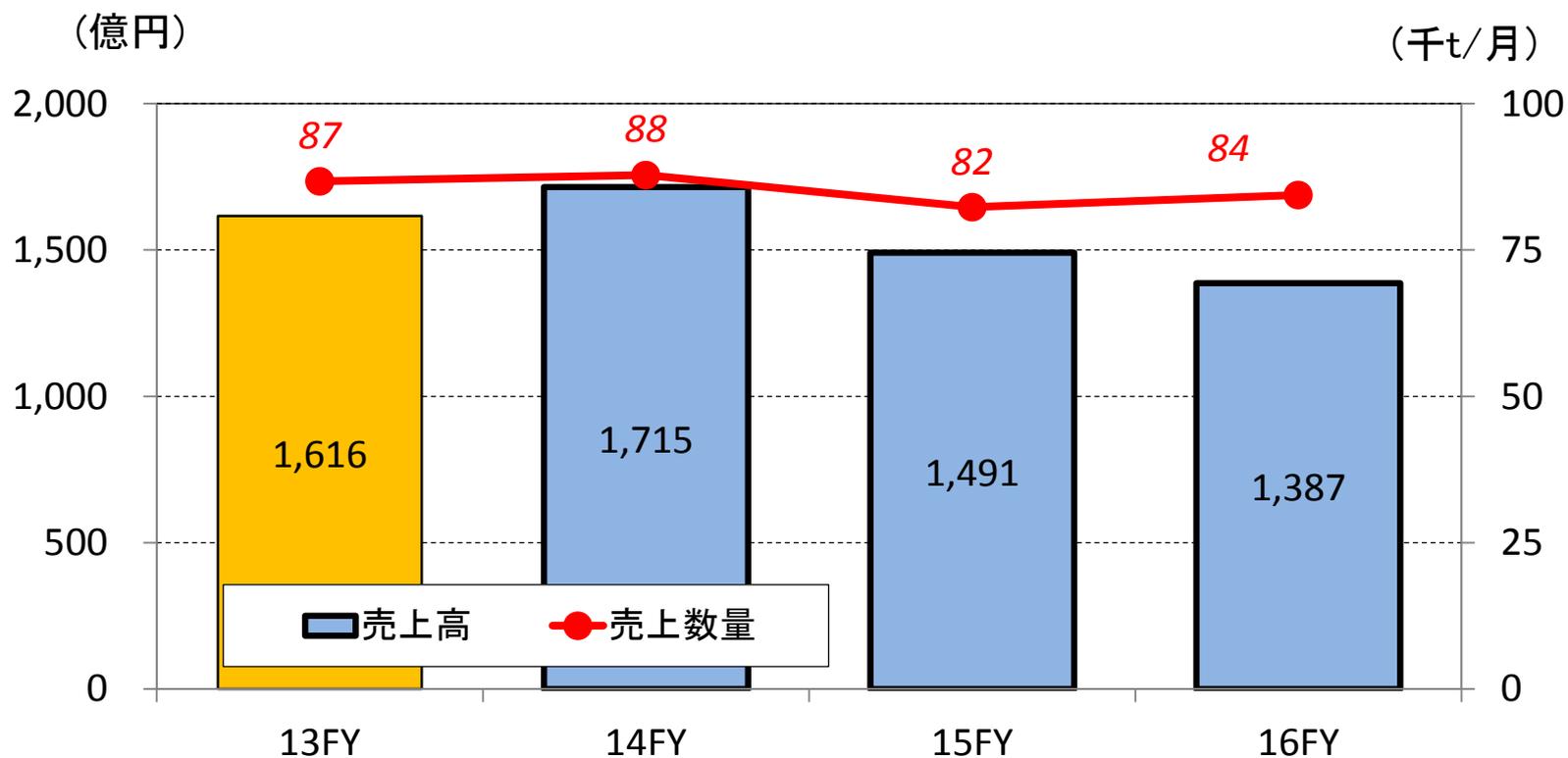
	第9次中期計画 (2016年度計画)
売上高	2,000
経常利益	150
ROS	7.5%
ROE	7.5%
D/Eレシオ(ネット)	0.30
有利子負債(ネット)	350
投資(3年間)	300



2016年度 (実績)	増減
1,387	△613
117	△33
8.5%	1.0%
6.6%	△0.9%
0.10	△0.20
127	△223
353	53

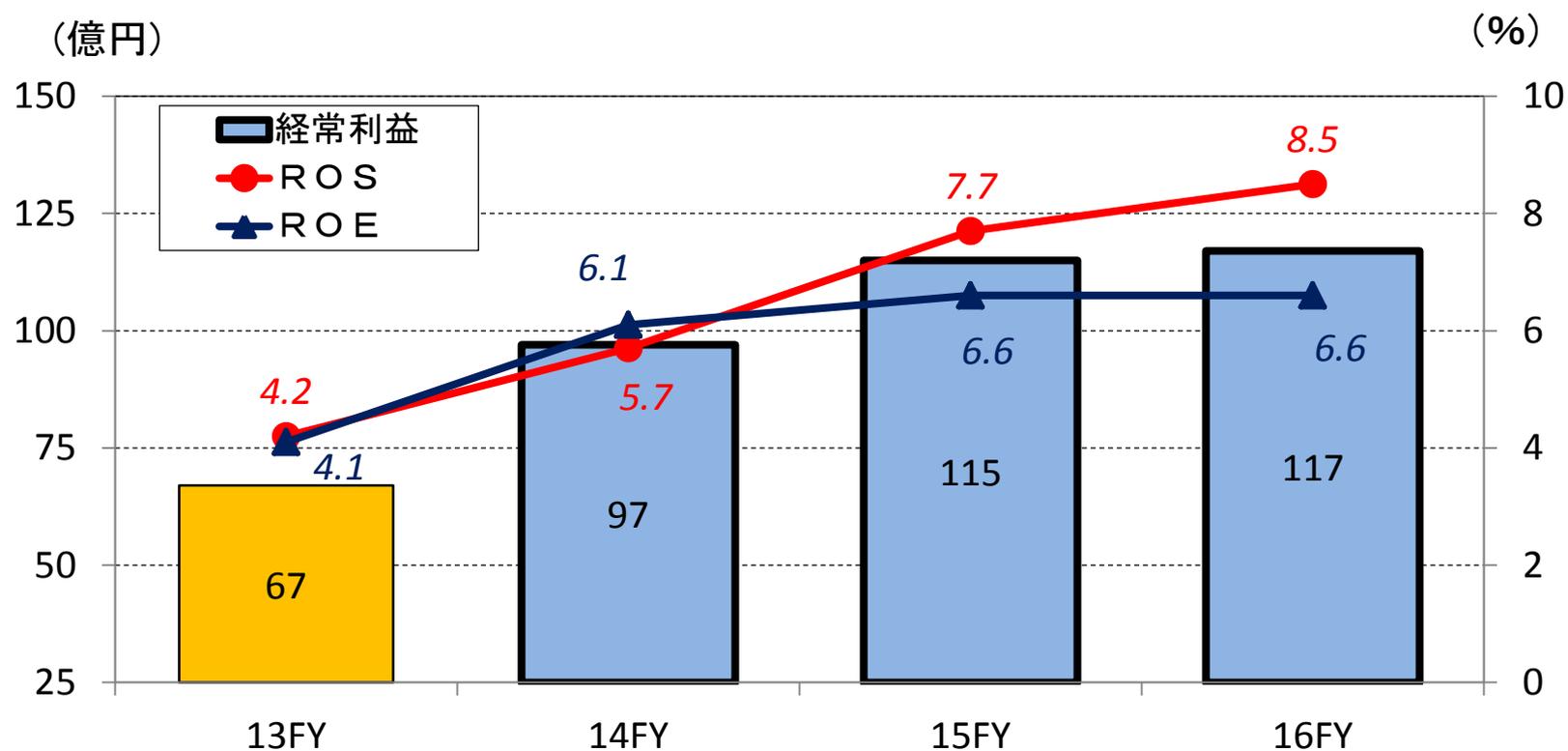
業績推移

売上高・売上数量



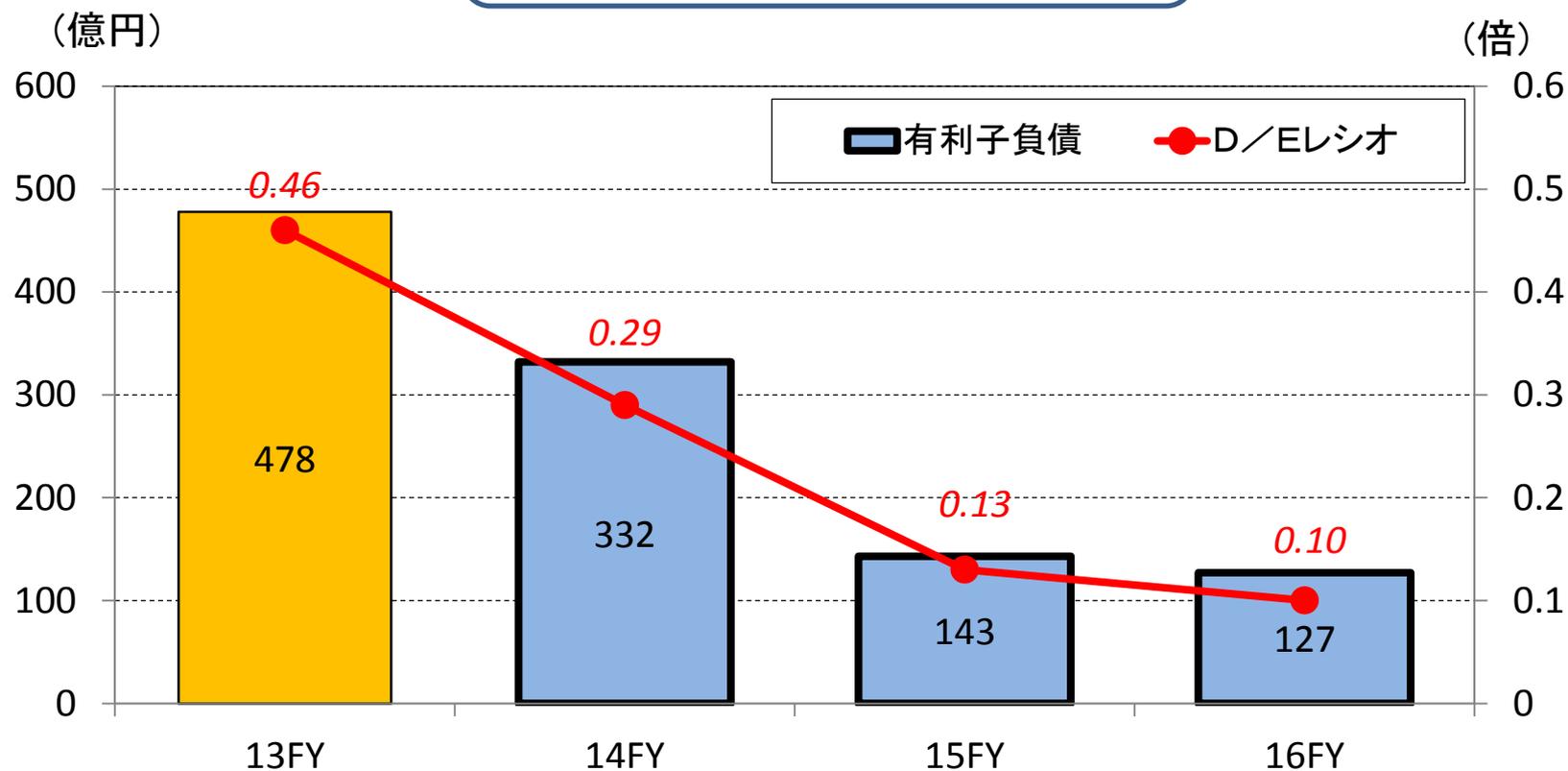
業績推移

経常利益・ROS・ROE

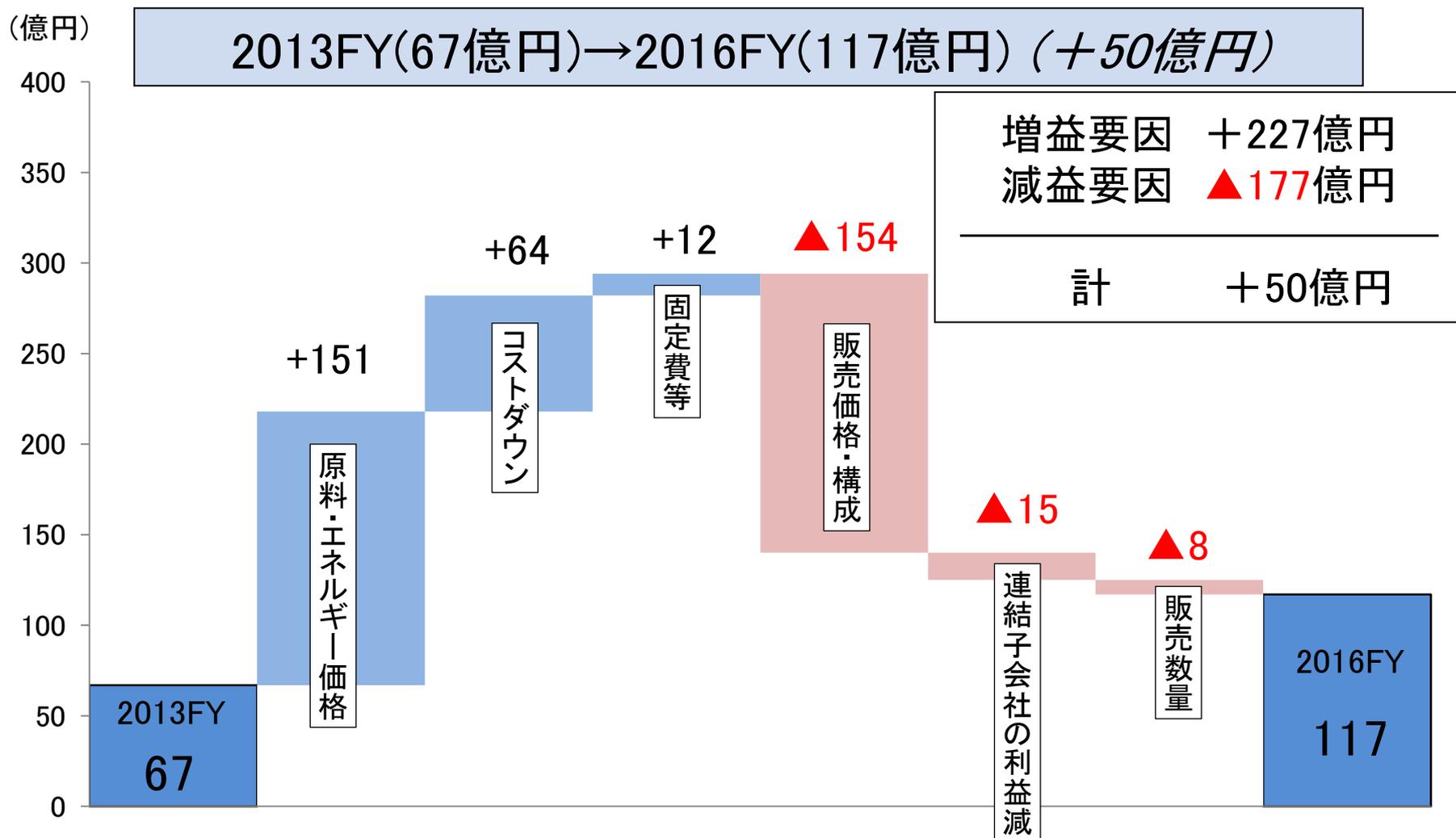


業績推移

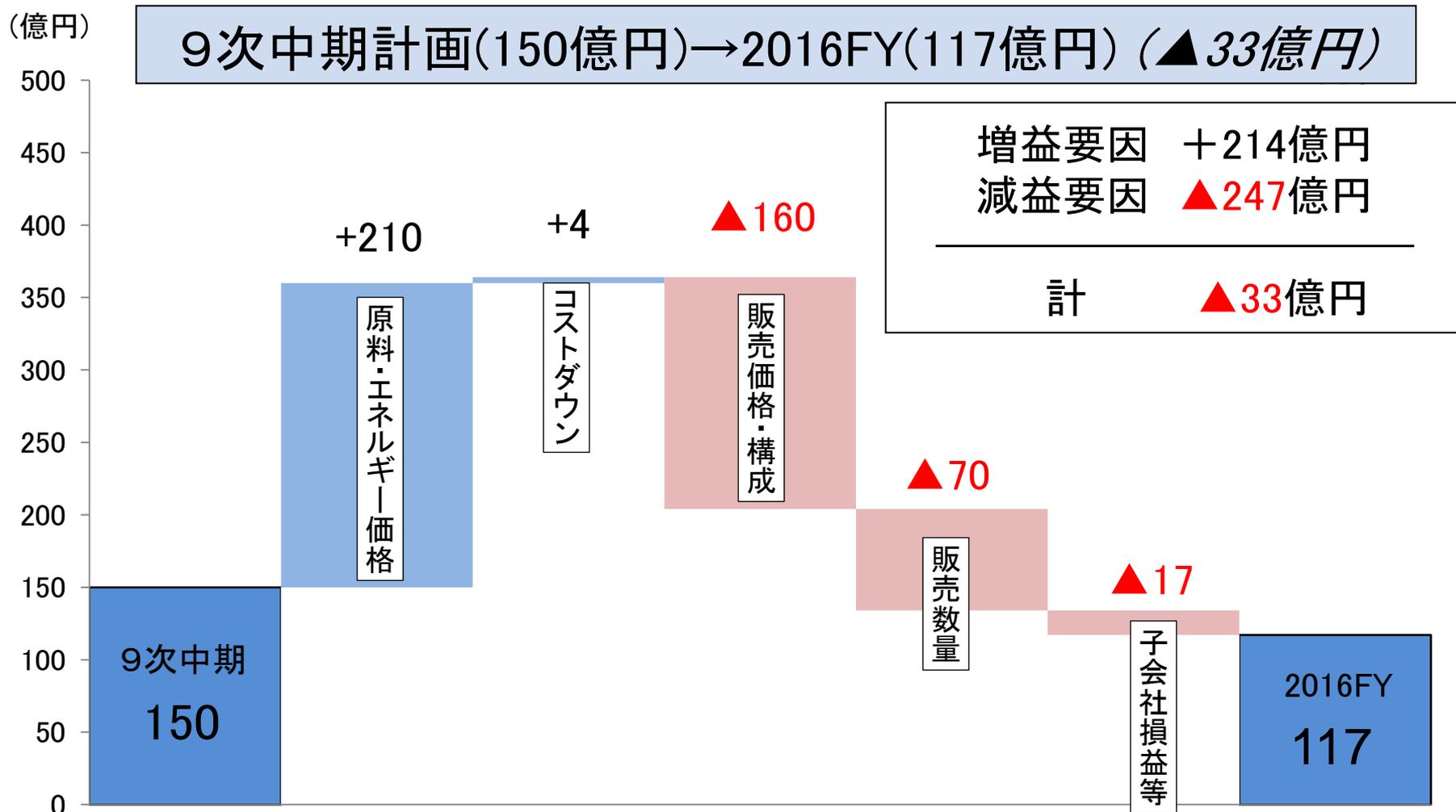
有利子負債・D/Eレシオ (ネット)



経常利益の変化要因(2013FY比)



経常利益の変化要因(計画比)



9次中期の取り組み

[鋼材事業]

- ◇単一タンディッシュ・浸漬ノズル交換なしで世界記録100 チャージ連々鋳達成 (2015年2月)
- ◇第63回(平成28年度)大河内賞「大河内記念生産賞」を受賞(2017年2月)
「超高清浄度軸受鋼の高生産性プロセスの開発」により「大河内記念生産賞」を受賞
- ◇新商品等の開発
 - ・ニッケル・モリブデンフリー高強度肌焼鋼「ECOMAX4」を商品化(2015年7月)
 - ・「QDX-HARMOTEX®」がNADCA(北米ダイカスト協会)の認定を取得(2016年2月)
 - ・過共析鋼の高靱性化技術の開発に成功(2017年2月)

[素形材事業]

- ◇メキシコ素形材子会社SMMを設立(2015年12月)
現在、2017年夏の工場稼働開始に向けて計画通り進行中。
- ◇タイ素形材子会社SSSPが商業生産を開始(2016年1月)

[特殊材事業]

- ◇第2粉末工場の建設決定(2015年10月)
現在、2017年夏の稼働開始に向けて計画通り進行中。

[その他]

- ◇経済産業省による「ダイバーシティ経営企業100選」に選出(2015年3月)
- ◇執行役員制度の導入決定(2017年3月)

Ⅱ. 第10次中期経営計画

「Sanyo Global Action 2019」

～山陽ブランドのグローバル化による持続的成長の追求～

1. 環境認識

■ 世界の特殊鋼需要は緩やかに増加

■ 国内の特殊鋼需要は長期的には減少傾向
足元は堅調だが...

■ 国内・海外ともに競争激化
競争メーカーの積極的な設備投資、海外メーカーの品質競争力向上 等

■ 原料・エネルギー価格は上昇傾向

2. 経営基本方針

事業基盤の強化を通じた
盤石な企業体質の確立

研究開発・品質競争力の強化による
技術先進性の更なる追求

「高信頼性鋼の山陽」の
グローバルブランド化の推進

持続的成長を追求
(人・技術・利益)

3. 主要経営指標

(単位:億円)

	2016年度 (実績)
売上高	1,387
経常利益	117
ROS	8.5%
ROE	6.6%
ROA	6.5%
D/Eレシオ(ネット)	0.1

投資(3年間)	353
研究開発費(3年間)	46
採用(単独・3年間)	56人

連結配当性向	25.9%
--------	-------

2019年度 (計画)	増減
1,500	113
135	18
9%	0.5%
7%	0.4%
7%	0.5%
0.2	0.1

500	約1.4倍
50	約1.1倍
150人	約2.7倍

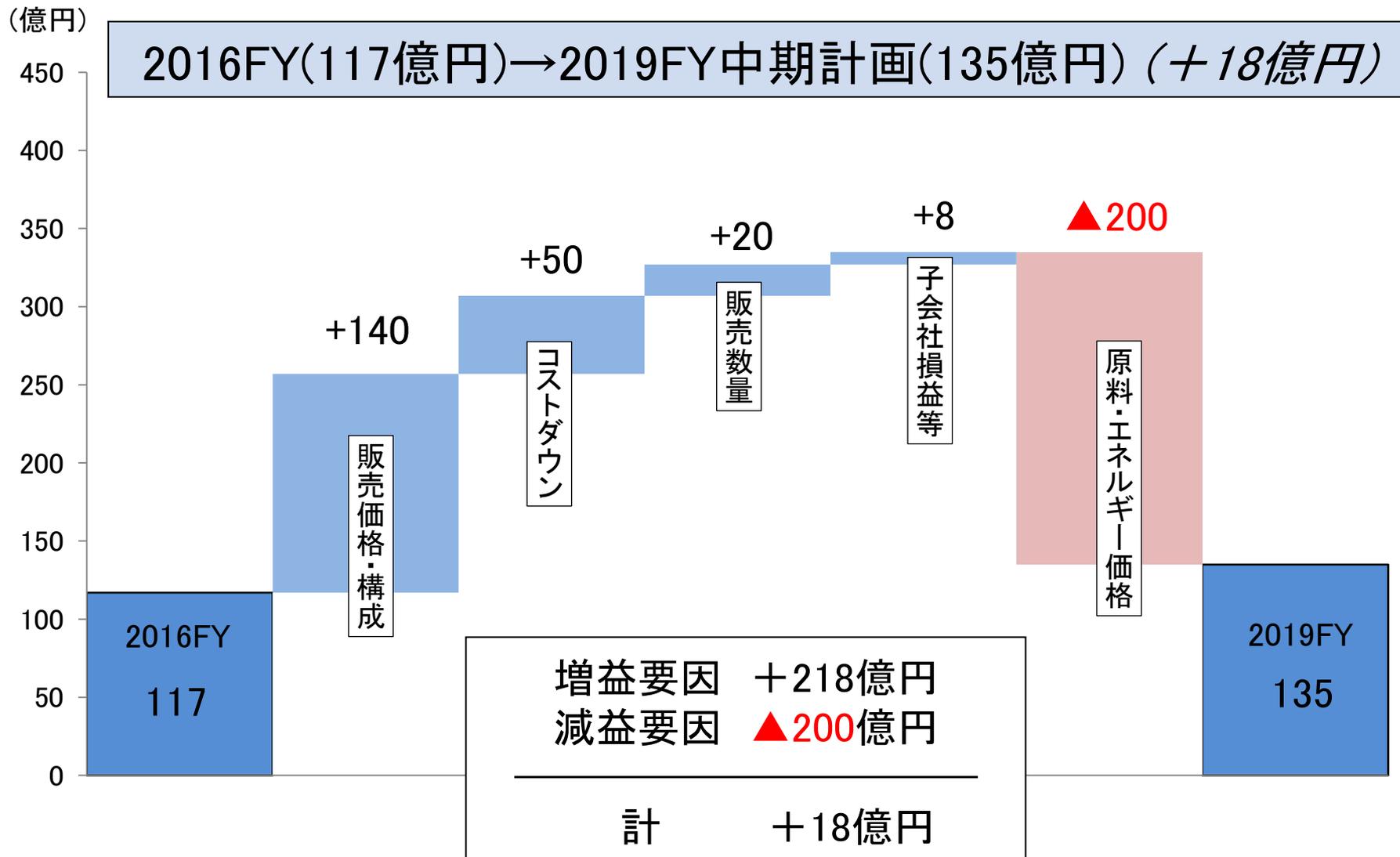
30%	4.1%
-----	------

[主要前提(16→19FY)]
 ・鉄スクラップ市況価格
 22→32(+10)千円/t
 ・為替 109→100円/\$
 ・ドバイ原油 47→60\$/BL

(注1) ROE・・・自己資本当期純利益率

(注2) ROA・・・総資産経常利益率

(参考) 経常利益の変化要因



4. 重点施策 その1

◇事業基盤の強化を通じた盤石な企業体質の確立

(1) 生産構造改革 (Sanyo Factory Renovation) の
実行による競争力強化

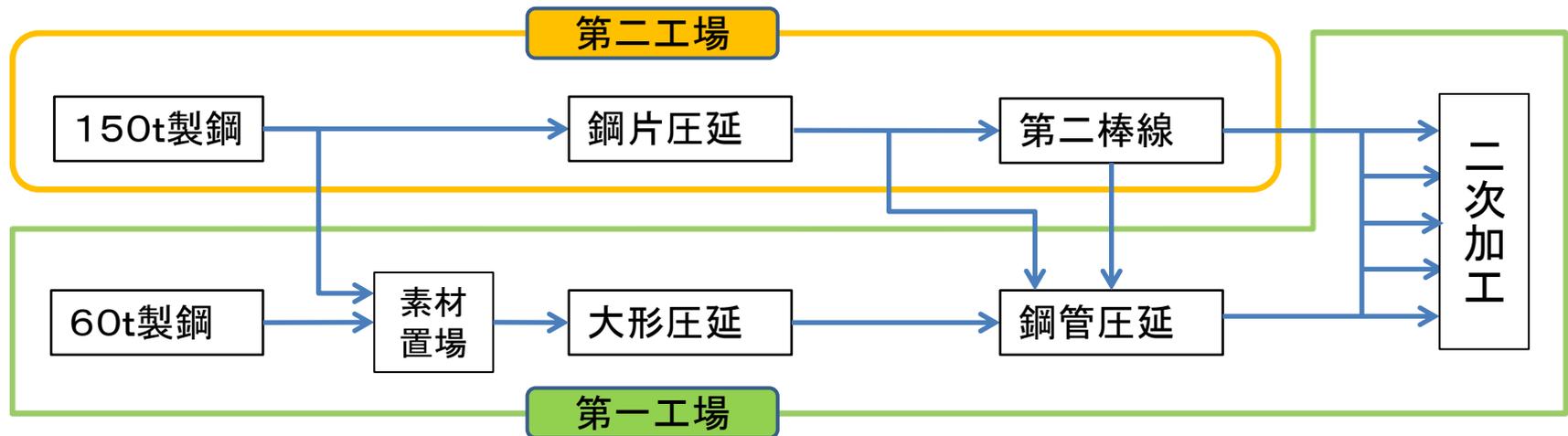
- 第二棒線工場等のボトルネック解消
- 物流の整流化・直結化
- AI、IoTの活用による自動化・効率化



コスト競争力・納期対応力を強化

(参考)生産構造改革イメージ・・・現状

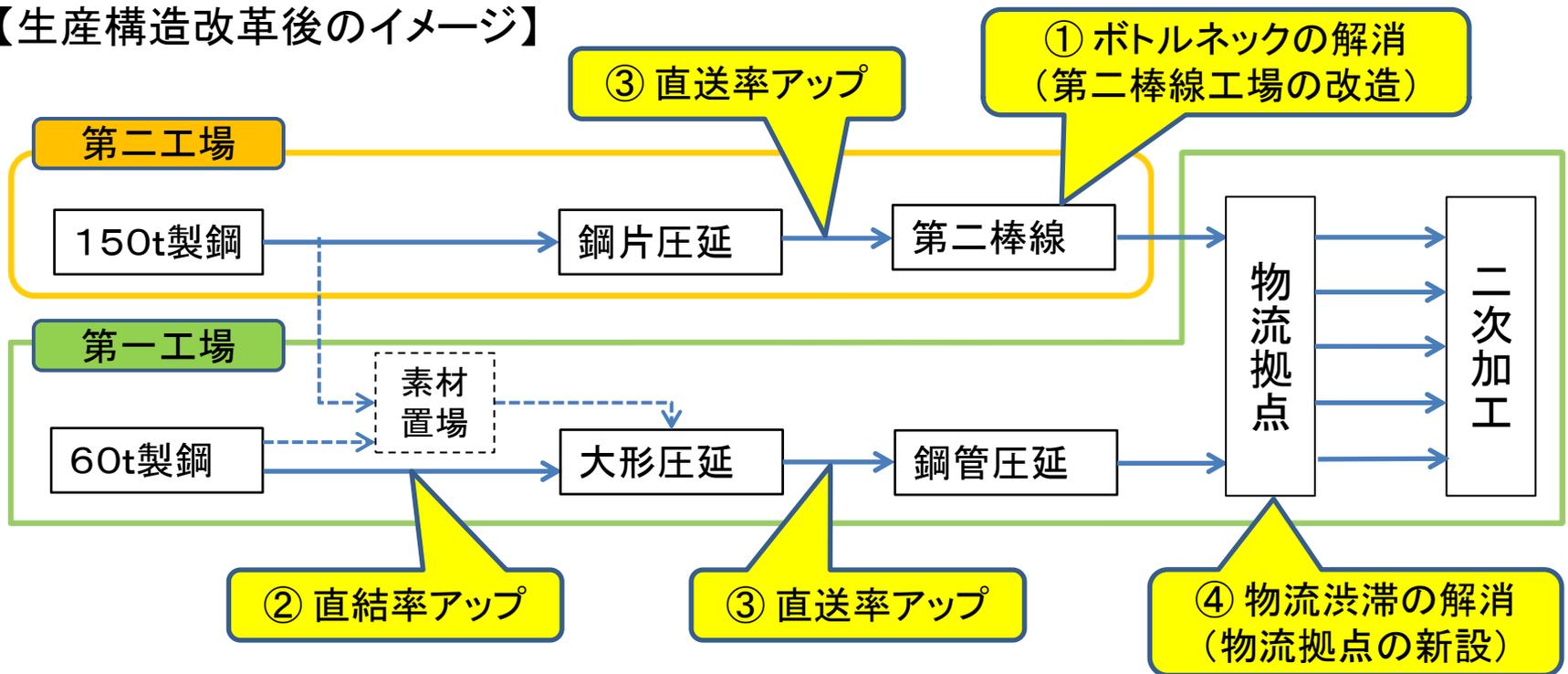
【現状の生産構造】



- ・需要構造の変化に伴う小径・小ロット化が進展
 - 第二棒線が生産性低下によりボトルネック化
 - ロット数増等に伴い二次加工工程前での物流渋滞
- ・60t系列の老朽化(非直結)
 - 60t系列が低稼働、第二工場から第一工場への素材物流増

(参考)生産構造改革イメージ・・・改革後

【生産構造改革後のイメージ】



- ① 小径・小ロット化への対応として第二棒線工場の改造
- ② 60t製鋼→大形圧延工程の直結率アップ
- ③ 150t・60t製鋼の2系列での直送率アップ
- ④ 物流拠点の新設により二次加工工程前での物流渋滞解消
- ⑤ AI、IoT活用による自動化・効率化の推進

- ・ボトルネック解消
- ・物流の整流化
- ・効率化
- ・BCP対策



4. 重点施策 その2

◇事業基盤の強化を通じた盤石な企業体質の確立

(2) 安定的な収益の確保

■ 鋼材事業の収益安定化

- ・原料・エネルギー価格影響をコストダウン、販売価格で吸収
- ・伸長する特殊鋼外需を的確に捕捉
- ・品種構成の改善

■ 非鋼材事業の規模拡大による全社収益安定性の向上

- ・9次中期に実行した投資を着実に立上げ、成長市場を捕捉
 - 素形材事業: タイ(SSSP)・メキシコ(SMM)
 - 特殊材事業: 第2粉末工場
- ・非鋼材事業の売上規模 2016年度比 1.5倍

4. 重点施策 その3

◇事業基盤の強化を通じた盤石な企業体質の確立

(3) 経営基盤の強化

■ 迅速・透明な経営の推進

- ・執行役員制度(2017.6～)の定着
- ・安全・防災・環境・コンプライアンスの継続強化

■ 人材の確保・育成

- ・国際化対応、技能伝承に向け定期採用を強化(9次中期比 2.7倍)
- ・再雇用制度改善、女性活躍支援等のダイバーシティの継続推進
- ・ワークライフバランスに配慮した働き方改革の実行

■ 株主還元強化

- ・連結配当性向の下限を25%に(現状 20%)
- ・2019年度に連結配当性向30%を目指す

4. 重点施策 その4

◇研究開発・品質競争力の強化による技術先進性の更なる追求

(1) 軸受鋼をコアとする品質競争力の強化

■コア技術「高潔度鋼製造技術」をベースとした内部品質の優位性を堅持

■工程改善と品質保証の高度化による外観品質のレベルアップ

⇒「内部品質・外観品質グローバルNo.1」を目指す

4. 重点施策 その5

◇研究開発・品質競争力の強化による技術先進性の更なる追求

(2) 研究開発の推進

■研究開発費 9次中期比 1.1倍 (46→50億円)

■基盤研究と商品開発の機能明確化

■中長期の研究開発企画機能の強化

⇒ 高信頼性商品と新技術を迅速かつ継続的に創出

4. 重点施策 その6

◇「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化の推進

(1) グローバルブランド化の施策の推進

当社ブランド力の源泉(QCDDカ*)の強化

- 海外拠点の役割強化
- 素形材事業6極体制の確立
- グローバルサプライチェーンの構築

グローバルブランド化

* Quality(品質)・Cost(コスト)・Delivery(納期)・Development(研究開発)

4. 重点施策 その7

◇「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化の推進

(2) 認知度の更なる向上に向けた取組みの推進

■ 技術企画機能を強化し、お客様との技術交流を加速

■ 国内外への情報発信を強化
・・・積極的にPR活動、IR活動等を展開



グローバルでのブランド浸透

4. 重点施策 その8

◇投資

3年間で500億円を計画化 (9次中期比 1.4倍)

■戦略投資 250億円/3年

…生産構造改革投資、M&A 等

■一般投資 250億円/3年

…省エネ等のコスト削減投資、省力化投資、品質対応、老朽更新等



“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。



「さんとくん」
(当社キャラクター)